

# 情報公開文書

研究の名称	胆膵腫瘍における病理分子学的検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院病理診断科(富山大学学術研究部医学系病理診断学講座)・平林 健一
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 1991年1月1日～2023年5月31日の間に、富山大学附属病院にて採取された胆道系腫瘍患者(胆管癌、胆嚢癌、胆管内上皮内腫瘍、胆管上皮内腫瘍性病変、腺腫、悪性リンパ腫等) 膵腫瘍患者(膵管癌、膵管内乳頭状粘液性腫瘍、粘液性腫瘍、漿液性腫瘍、神経内分泌腫瘍、腺房細胞腫瘍、膵管内上皮内腫瘍、膵上皮内腫瘍性病変、solid-pseudopapillary neoplasm、悪性リンパ腫等)を対象とします。また、対照として非腫瘍性胆膵疾患患者(膵炎、胆嚢胆管炎)を対象とします。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 胆道(胆管、胆嚢)および膵臓より発生する腫瘍には多くの組織型があり、その病理・分子学的特徴は十分解明されていません。また、代表的な腫瘍である胆管癌および膵管癌は、極めて予後不良であり、その病理学的・分子学的特徴の解明や、新たな早期診断マーカーや治療標的の発見が望まれています。本研究では、胆膵腫瘍の組織・細胞診標本を対象として、病理形態的および分子病理学的手法を用い検討することで、胆膵腫瘍の新たな病理形態学的特徴やバイオマーカーを明らかにします。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 後ろ向き観察研究：既存のカルテ記載資料からの情報収集および既存の病理組織・細胞診検体を用い病理形態学的評価及びタンパク質、DNA、RNA、miRNA等の発現を検討いたします。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2028年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。研究成果は学会発表や学術雑誌で報告されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	カルテ情報(病理組織診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、家族歴、血液検査結果、画像検査データ等)と病理組織・細胞診標本を使用する研究で、新たな検査や費用が生じることはありません。他機関への情報や資料の提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。

<p>試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）</p>	<p>富山大学附属病院病理診断科・富山大学学術研究部医学系病理診断学講座病理 平林 健一</p>
<p>研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口</p>	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7236 FAX 076-434-5050 E-mail <a href="mailto:hiraken@med.u-toyama.ac.jp">hiraken@med.u-toyama.ac.jp</a> 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系病理診断学講座・平林健一</p>